

小樽・後志

⑩

ここで働く

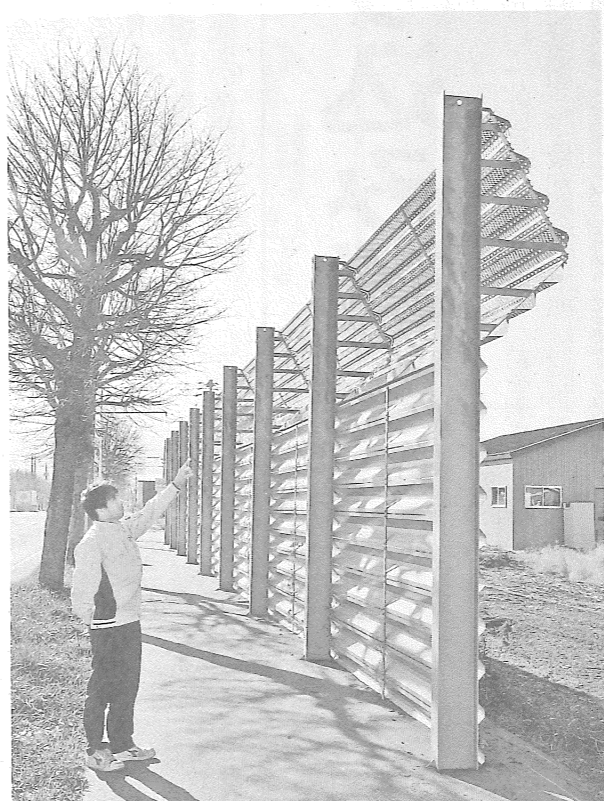


理研興業の本社

理研興業

防雪柵を製造する専門メーカーで、今年創業60周年の節目を迎えた。同社によると、設置した防雪柵の延長は東京―大阪間の往復距離にあたる千キロに達した。柴尾耕三社長(68)は「一般的に社名はあまり知られていないが、道内や東北を車で走ると見える防雪柵はほとんど自社製品です」と話す。

防雪柵製造—小樽市



32年にわたって連なる「忍び返し型防雪柵」＝札幌市手稲区前田の道道

風洞実験重ね製品化

独立した。その後、62年に雪国に拠点を置く会社として、開発局が行った防雪柵の試験開発に参加し、製造業へ軸を移した。68年には木製が当たり前だった防雪柵の鋼材化を業界で初めて実現。柴尾社長は「日々の研究で課題としっかり向き合うことで、新商品が生まれてきた」と説明する。従来の防雪柵は鉄製の板で道路への雪の進入を防ぐとともに、柵の下部の隙間に風を集め、風が通り抜ける力で路面の雪を吹き飛ばしていた。だが、道路の幅が広いほど風力が増え、雪を飛ばし切れないという課題が残されていた。

その後も景観に配慮し、遠隔操作で柵を折りたためたり、車の騒音を抑えるため遮音性を高めた防雪柵を次々と製品化。開発の強みとなるのが、国内の民間企業で最大規模の「吹雪再現風洞実験設備」だ。人工的に吹雪を再現できる設備で、100分の1の模型を用いて防雪効果を日々検証している。

現在開発中の商品は、太陽光で発電し、融雪できる防雪柵や、照明を取り付けて吹雪の中で車の運転手に柵の位置を知らせる製品。入社7年目で技術開発課の中村真生課長(44)は「前例にとらわれず、新しいものが開発でき、製品が目に見える形で人の役に立っていることが何よりもやりがいになります」と話している。

△所在地 本社小樽市銭函3の263の7  
△従業員数 27人△創業 1955年△主要製品 防雪柵△売上高 16億5900万円(15年3月期)△採用人数 15年度従業員1人、16年度は技術職若手名を予定

ごみの減量化再利用で表彰

小樽消費者協会

小樽消費者協会(星功会長)が、ごみの減量化や廃棄物の再利用に取り組む企業や団体を表彰する「リデュース・リユース・リサイクル」(3R)推進功労者等表彰(3R推進協議会主催)の3R推進協議会会長賞に選ばれた。協会関係者は「4年前から息長く継続してきた活動が評価された」と喜んでいる。



表彰を小樽市に報告する(右から)小樽消費者協会会長、吉田副会長

同協会は1975年に衣料品の不用品即売会を始め、たの皮切りに、プラスチックトレーの使用実態調査や牛乳パックの回収事業などを他都市に先駆けて実施。民間事業者の進出を受けて手を引いた事業もあるが、現在も廃油を用いたせっけん作りや親子向け環境教室などに取り組んでいる。

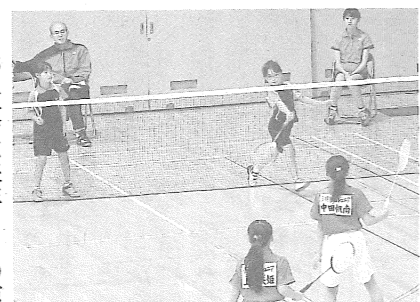
これまでに会長が個人として表彰されることはあったが、協会として表彰を受けたのは初めて。東京での表彰式に出席した吉田幸子副会長は「先輩たちが代々、良いと信じていることに絶えず取り組んできた結果です」と話す。

同協会は10月末に小樽市に受賞を報告。市生活環境部の渡辺幸生部長が「これからもぜひ継続してほしい」と激励した。星会長は「今後も社会の動向を見ながら、私たちにできることを探っていきたい」と話している。(市村信子)

小学生が熱戦

シャトル追い

【ニセコ】後志小学生バドミントン大会(後志バドミントン連絡協議会など主催)が15日、町総合体育館で開かれ、管内のスポーツ少年団やクラブチームなどに所属する122人が熱戦を繰り広げた。



男女別にシングルス、ダブルスを行い、男子のダブルス6年生以下はリーグ戦で、その他はトーナメントで順位を競った。指導者や保護者が見守る中、児童たちは、はつらつとプレーした。大会は来年1月の第29回全十勝小学生オープン大会(十勝管内音更町)の選考会も兼ね、各部の上位3位までが出場権を獲得した。(小池伸之) 成績は次の通り。(敬称略)

激しい攻防を繰り広げる選手

故郷に眠る歴史驚き

NHK総合の街歩き番組「プラタモリ」。14日夜の放送は小樽を取り上げた。番組の中で、明治30、40年代に丘陵を削って造成した小樽・花園地区の繁華街に今でも削り残しと見られる約5分の高台が残っていたことには驚いた。

NHK番組スタッフが市街地造成の痕跡を探し見つけ、地質に詳しい北大の松枝大治名誉教授が市街地の造成前の地層を確認したという。

番組の放映後の16日、現地近くを訪れた。高台は住宅や商店などに囲まれている、非常に分りづらい場所であった。現在はほぼ平坦な花園地区。人口急増で造成前に建物を建てたために高台が残ったとされる。急発展した小樽の歴史を感じ、胸が高鳴った。

雑記帳

小樽生まれで旧堺小に通った。小樽に着任して2年半近く。高台のそばを何百回も通っているが気付かなかった。身近なところに眠る歴史を掘り起す。こうした積み重ねも小樽の魅力アップにつながる。 (田子由紀)

まち

小樽(18日)▽おはなしの会 午後3時、市立小樽図書館  
▽何でも困りごと相談 午前9時、札幌法務局小樽支局  
▽塩谷児童センター 母親クラブ(午前10時) 一輪車クラブ(午後3時15分)  
▽ポイント食事会 正午、杜のひろば  
▽移動図書館わくわくブック号 ありふりファミリア駐車場(午後2時〜2時20分) 望洋ふれあいセンター前(2時40分〜3時10分) センシブルン接町店横(3時30分〜4時) さくら幼稚園前(4時10時)